

成田の舞台裏

普段何げなく利用している施設やサービス。その裏側では、どのようなことが行われているのでしょうか。ここでは、普段は見るできない成田のさまざまな舞台裏を紹介します。

第21回 成田空港のクリスマス ～年に一度の特別な演出を～

クリスマス前の成田空港では、そのムードを盛り上げるべく特別な装飾が行われています。今回は、世界中から訪れる利用客を楽しませる成田空港のクリスマスの舞台裏を紹介します。

3つあるターミナルの大きな窓ガラスに描かれるのがウインドウアート。飛行機に乗ったサンタクロースといった空港とクリスマスを組み合わせた作品のほか、外国の人が日本に抱くイメージとして歌舞伎の役者絵を取り入れた作品などもあります。このアートの魅力の一つが、成田空港で働く約30社のスタッフによって描き入れられたイラストやメッセージ。会社の垣根を越えて、成田空港全体で盛り上げようと取り組んでいます。

第2ターミナル2階の立体駐車場連絡通路にずらりと並ぶのが、本市を含む近隣9市町の幼稚園児と保育園児によるクリスマス作品です。色紙や紙コップ、フェルトなどの材料で手作りされた、ツリーの飾りや通路を彩る壁飾り。クリスマスの「楽しさ」や「幸福感」がそばを通る人に伝わるように、という思いを込めて、スタッフが一つ一つ丁寧に飾り付けます。

世界中の多くの人に親しまれるクリスマス。世界各国の人が利用する場を華やかに飾る成田空港のクリスマスの舞台裏には、クリスマスムードを楽しんでもらうために一体となって取り組む姿がありました。



①第3ターミナルではウインドウアートがお出迎え
②園児の手作り作品を丁寧に飾り付け

舞台裏の様子をYouTubeでも

右のQRコードから成田市公式YouTubeチャンネルにアクセスして、スマートフォンやタブレットなどから、取材の際に撮影した動画やスライドショーを見ることができます。



成田市公式
YouTubeチャンネル

皆さんのさらに身近な存在に

成田国際空港(株)地域共生部

千葉 祐介さん

地域と空港が一体となってクリスマスムードを演出します。子どもたちの作品は独創的で見るだけで楽しくなります。飛行機に搭乗する際だけでなく、こうしたイベントを楽しみながら、空港をさらに身近に感じてもらいたいです。



個性あふれる作品を楽しんで

成田国際空港(株)旅客ターミナル部

杉浦 菜々子さん

4人のアーティストによって描かれたウインドウアートは、色使いやタッチの違いに、それぞれの個性が表れていて面白いと思います。クリスマスまで、ここでしか見られない作品なので、多くの人に楽しんでもらいたいです。



※「成田の舞台裏」は今回をもって連載を終了します。ご愛読ありがとうございました。

編集後記

東京にイチヨウ並木を見に行った時のこと。一面が黄色く色付いたきれいな光景を写真に残そうとしたものの、あまりの人の多さに気後れしてしまい、自信満々にポーズを決める人たちがうらやみつつ、帰ることとなりました。現在、市役所の1階玄関付近では、成田西陵高校の生徒の皆さんによって育てられたシクラメンの花が飾られています。シクラメンの花言葉は「気後れ」。白やピンクの花びらを付けてかわいらしく咲くシクラメンと同じなら、悪くないですね。

令和5年12月15日号 No.1497

成田市のホームページ

<https://www.city.narita.chiba.jp>

*QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です

*本紙は12月7日時点の情報を掲載しています。最新情報は各ページの問い合わせ先や市ホームページで確認してください。



リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

広報なりたは、グリーン購入法に基づく基本方針の判断基準を満たす用紙、誰にでも読みやすいUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています。